

2023年6月24日(土) — 10月1日(日)

同時開催

ちひろ 子ども百景

谷内こうた展 風のゆくえ



『のらいぬ』(至光社)より 1973年(個人蔵)



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

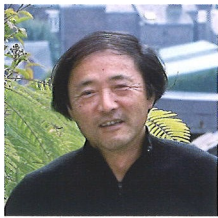
ちひろ美術館・東京

chihiro.jp



主催:ちひろ美術館 協力:谷内富代、至光社、平凡社、ギャラリー杉野

後援:絵本学会、(公社)全国学校図書館協議会、(一社)日本国際児童図書評議会、
日本児童図書出版協会、(公社)日本図書館協会、杉並区教育委員会、西東京市教育
委員会、練馬区



谷内こうた 1947~2019

神奈川県に生まれる。多摩美術大学絵画科進学後、家業のろうけつ染めを手伝う。20歳のときに、叔父の谷内六郎のすすめで初めての絵本の絵を描き(『ぼくのでんしゃ』『おじいさんのばいおりん])至光社の武市八十雄に認められ、同社より出版。1971年に『なつのあさ』でポーロニヤ国際児童図書展グラフィック賞を受賞。同年に渡欧し、油彩画の制作を中心に活動。『のらいぬ』『つきとあそぼう』にて1979年、1981年BIB金のりんご賞受賞。2019年ルーアンにて没。

本展は、二〇一九年に71歳で亡くなった谷内の、絵本原画や、初公開作品も含めた雑誌の表紙絵、タブローなどを写真や資料とともに展示し、その画業の全体像を紹介します。

谷内は、35歳のときに家族とともにノルマンディーに移住し、アトリエを構えて数多くの油彩画を描きました。

『のらいぬ』(至光社)より 1973年(個人蔵)



谷内こうた展 風のゆくえ

谷内こうたは、一九七一年、24歳のときに3作目の絵本『なつのあさ』で日本人として初めてポーロニヤ国際児童図書展でグラフィック賞を受賞、鮮烈なデビューを果たしました。そぎ落とされた絵と詩のようなことばで展開していく絵本は、ヨーロッパや日本で驚きをもって迎えられました。移り行く光や空気を色の変化であらわし、現実と架空の世界を自由に行き来する谷内の絵本は、今も見るものを魅了し続けています。



『ぼくたちのやま』(至光社)より 2018年(個人蔵)



『なつのあさ』(至光社)より 1970年(ちひろ美術館寄託)



テーブルのすぐりの実 1971-73年(個人蔵)



宿の裏庭 1978年(個人蔵)

会期中のイベント

詳細はちひろ美術館公式サイトでご案内します。＊開館情報、会期、イベント情報は予告なく変更する可能性があります。ご来館前に必ず最新情報をご確認ください。

谷内こうた展 関連イベント

- 講演会
ボンジュール こうたさん！—父と絵本の旅—
7月9日(日)14:00~15:00
講師:谷内草(ガリマール出版社児童局)
参加費:800円(入館料別)
定員:ちひろ美術館・東京 図書室20名、オンライン80名 申し込み:要事前予約(公式サイト、Peatixにて6/9より受付)
- 鼎談
編集者が探る 谷内こうたと絵本の魅力
9月10日(日)14:00~15:30
講師:市河紀子(フリーランス編集者)、千葉美香(偕成社編集部)、柴田こずえ(フリーランス編集者)
参加費:800円(入館料別)
定員:ちひろ美術館・東京 図書室20名、オンライン80名 申し込み:要事前予約(公式サイト、Peatixにて8/10より受付)

ちひろ展 関連イベント

- ＊すべて参加費無料(入館料別)
- わらべうたあそび
7月15日(土)11:00~11:40
講師:服部雅子(西東京市もぐらの会代表、はとさん文庫主宰)
対象:0~2歳児と保護者 定員:8組16名
申し込み:要事前予約(公式サイト、TELにて6/15より受付)
- 松本猛ギャラリートーク
8月6日(日)14:00~14:30
講師:松本猛(いわさきちひろ長男・ちひろ美術館常任顧問)
定員:15名 申し込み:当日受付
- ちひろ忌・アトリエトーク
8月8日(火)11:00~11:20/14:00~14:20
定員:各回15名 申し込み:当日受付

その他のイベント

- ＊すべて参加費無料(入館料別)
- 開館記念日・たてもの探検ツアー
9月10日(日)11:00~11:30
定員:15名(先着順)
- 敬老の日
9月18日(月・祝)
65歳以上入館無料
- ギャラリートーク
第1・3土曜日 14:00~14:30
定員:15名 申し込み:当日受付
- 絵本のじかん
第2・4土曜日 11:00~11:30
定員:15名 申し込み:当日受付
協力:NCBN(ねりま子どもと本ネットワーク)

同時開催

ちひろ 子ども百景

いわさきちひろは、あかちゃんの月齢を描き分けることができた画力と、母親としての深い愛情で、あらゆる子どもの姿を絵のなかにとらえました。初期のスケッチから中期の絵雑誌、後期の代表作までを展示し、ちひろが描いた子どもの情景の変遷をたどります。あわせて、『私は赤ちゃん』など、松田道雄との育児書の仕事に注目します。



いわさきちひろ おつむてん 1971年

次回展示予定

10月7日(土)~2024年1月14日(日)
ちひろ美術館セレクション
2010→2021 日本の絵本展
いわさきちひろ やさしさと美しさ

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団 ちひろ美術館・東京

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2
TEL.03-3995-0612 テレホンガイド 03-3995-3001 FAX 03-3995-0680
●開館時間=10:00~17:00(入館は閉館の30分前まで) ●休館日=月曜日(祝日は開館、翌平日休館) ●入館料=大人1000円/高校生以下無料/年間パスポート3000円 ●交通 ○電車の場合=西武新宿線上井草駅下車徒歩7分 ○バスの場合=JR中央線荻窪駅より西武バス石神井公園駅行き(荻14)上井草駅入口下車徒歩5分/西武池袋線石神井公園駅より西武バス荻窪行き(荻14)上井草駅入口下車徒歩5分



展覧会公式図録『谷内こうた 風のゆくえ』(平凡社) 谷内こうた・著 ちひろ美術館・監修 2,420円(税込)